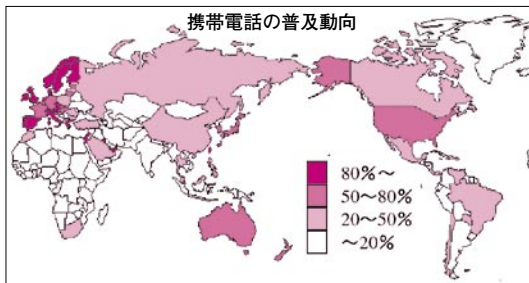


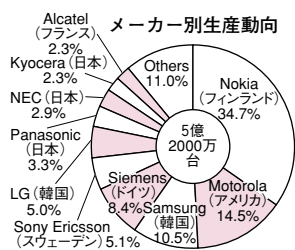
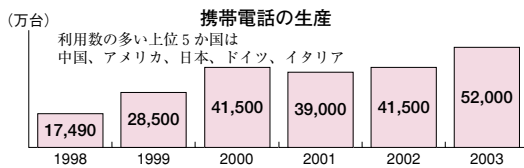
携帯電話の 世界動向

2003年末では13億7500万人が利用 世界の携帯電話市場は、2003年末現在で13億7500万人が利用している。西欧や日本、韓国、台湾等では普及飽和から非音声

のデータ通信へと進んでいる。人口が多い中国、ロシア、ブラジル、インドでは、今普及期を迎えている。2003年の1年間に、中国6000万、インドとブラジルが1800万、ロシアが1200万増加している。



世界の生産動向 2003年の携帯電話生産は5億2000万台となっている（前年比25%増）。



世界1位メーカーは北欧フィンランドのノキア、躍進しているのが3位韓国サムソンである。日本メーカーは7位松下、8位NECとなっている。

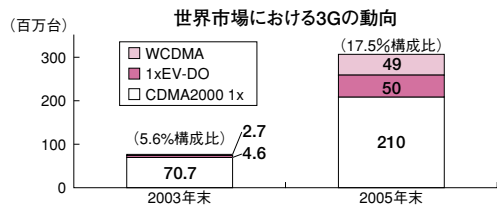
非音声サービス 携帯電話が普及飽和にある国から非音声による市場創造 音声サービスへの取り組み強化が進んでいる。携帯電話のインターネット接続では日本が最も普及しており、全携帯電話の85%に達している。日本においてはカメラ付携帯電話がほとんどを占めるまでになっている。世界最大20数か国でサービスを展開しているVodafoneでは約10%くらいになっている。

日本	: NTTドコモ / iモード	4033万人 (89%構成比)
イギリス	: Vodafone / live!	103万人 (9%構成比)
韓国	: KTF / MagicN	830万人 (79%構成比)
中国	: China Unicom / Umax	1648万人 (18%構成比)
アメリカ	: SprintPCS / Vision	320万人 (20%構成比)

世界的には日本について韓国、台湾が高普及で、西欧主要国および中国、アメリカ等での普及が始まっている。

非音声サービスは、国ごと、電話会社ごとに違う方法であるが、世界中どこでも使える方向に向かっている。日本のiモードは、ドイツ、オランダ、ベルギー、フランス、スペイン、イタリア、マケドニア、ブルガリア、ギリシャ、アルバニア、台湾等11か国でサービス提供され、約200万人が利用している（日本を含めると約4233万人）。イギリスのVodafone live!は、20数か国で約450万人が利用している（日本を含めると約1727万人）。これらの代表的なサービス内容は、Eメール、インターネット接続、情報配信、音楽、動画ダウンロード、カメラ画像メール等となっている。

第3世代(3G)の時代へ 世界では、第3世代(3G)と呼ばれる、非音声サービスが高速(~384kbps移動中)で受けられる新しいサービスが開始されている。現在は2つの方式が提供されている。世界で最初に開始されたNTTドコモのWCDMA方式と、韓国、南北アメリカ、中国、日本のKDDI・auが提供するCDMA2000 1x方式とがあり、同一方式の国では同一端末がそのまま利用できるようになる（これまでだと、各国の間は、海底ケーブルや衛星を経由して、それぞれの国用の端末に持ち替えて利用している）。第3世代(3G)は、2003年末で世界市場の5.6%構成比から2005年末には17.5%構成比へと増加する見通しである。



※出典は、Global Telecom, 3G Mobile, Dataguest等より

(株)シード・プランニング取締役 杉本昭彦